



# 田園空間博物館だより なすの大地

班回覧

第41号

2023年3月発行

◎当誌は「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」の広報誌です。  
当運営協議会は「那須野が原西部田園空間博物館」の管理、運営を行っています。

## 「那須野が原西部田園空間博物館」とは

那須野が原西部地区（西那須野地区、横林・接骨木地区）の豊かな自然や疏水・開拓にまつわる史跡などを田園空間に広がる展示物（サテライト）に見たてて、『屋根のない博物館』として地域全体をとらえ、その地域に暮らす方々が中心となって保全・活用・復元し、地域の活性化を目指すもので、**県内では唯一の博物館**です。

**総合案内所**が、那須野が原博物館に併設されており、パンフレット、大型パネル等によりサテライトの案内をしています。

## 令和4年度の協議会の主な活動

### ①小学生サテライト絵画展

那須野が原西部田園空間博物館の対象エリアになっている西那須野地区と横林小学校の5・6年生を対象にサテライト絵画の募集を行い、なしお博と那須野が原公園、那須野が原博物館、その他ホームページ上で絵画展を開催し、多くの方に作品をご覧いただくことができました。

また、10月30日(日)に優秀賞以上受賞者を対象に表彰式を開催しました。最優秀賞を受賞した渡邊一舞さん(大山小6年)は「ひとつの色でも何種類かを使い分けてみたりといろいろ工夫しました。最優秀賞に選ばれてとてもうれしいです。」と受賞を喜んでいました。



絵画展  
ホームページ



サテライト絵画展表彰式



最優秀賞「ぼっぼ通り」  
大山小6年 渡邊一舞

優秀作品紹介

応募総数347点の中から、優秀作品を紹介します。各校児童たちの力作をぜひご覧ください。  
(敬称略)

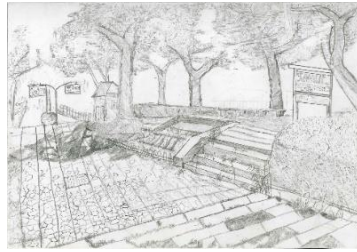
○大山小



「大山別邸」 菊池杏奈



「大山参道」 菅原真希穂



「ぼっぼ通り」 佐藤朱莉



「そすいの郷」 荒井颯太

○西小



「そすいの郷」 笹沼侑太



「光尊寺」 高根澤葵仁



「そすいの郷」 山田莉緒



「そすいの郷」 櫻井稜太

○南小



「烏森神社」 岩城志美



「長延寺」 篠田佐知



「親王台と那須開墾社」 古田颯菜



「長延寺」 佐藤穂香

○三島小



「烏森神社」 塗茂叶大



「三島神社と花」 福井光

○東小

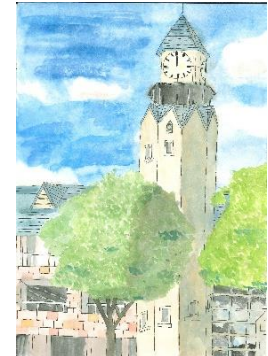


「三島神社奥宮母智が丘神社」 佐藤優衣香



「西那須野駅」 福山陽香

○槻沢小



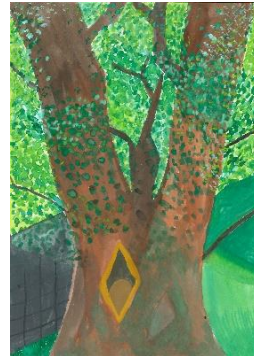
「庁舎時計塔と望の像」  
池井隼



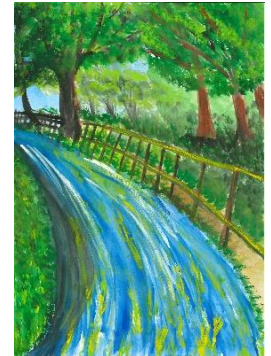
「太夫塚神社」  
瀬戸結菜



「那須疏水蛇尾川サイフォン出口」  
加藤悠人



「温泉神社のなんじゃもんじゃの木」  
渡部嬉咲



「出釜湧水地」  
藤田志桜



「西遅沢の出釜湧水地」 高塩春馬



「慶乗院」 橋本向日葵

○横林小



「温泉神社」 八月朔日琴音

## ②サテライト見学会

令和4年9月28日（水）、役員と部会員のサテライトへの理解の向上のため、現地研修としてサテライト見学会を行いました。各地区コミュニティで主要なサテライトを巡り、着いたところで役員さんに説明してもらうようにし、地元のサテライトだけでなく、那須野が原西部地区全体のサテライトについて理解を深めることができました。



【親王台にて】



【西地区コミュニティのフットパスを巡る】

## ③山橋地区コミュニティ視察受入

令和4年10月22日（土）、福島県石川町の山橋地区コミュニティから、地域づくりの参考にするために田園空間博物館への視察がありました。サテライトをつなぐフットパスを実際に歩いて、地域のサテライトを活用した自治会や地区コミュニティとの関わりや、整備・維持状況について情報交換しました。「地域がまとめて史跡や環境を保全しているのが素晴らしい、ぜひ参考にしたい」と山橋地区コミュニティの役員さんから感想がありました。



【乃木清水木階段補修作業】

## ④整備部会施設補修作業

令和4年11月20日（日）、ONSEN gastro ノミーウォーキングin那須塩原2022・西那須野の準備のため、田園空間博物館整備部会と西那須野観光協会、大山地区コミュニティの合同で、乃木公園や大山公園の清掃活動が行われました。田園空間博物館整備部会では、乃木清水の木階段の防腐剤塗装を行いました。翌週のONSEN gastro ノミーウォーキングで全国から多くの方に見ていただくことができました。

## ⑤那須野が原ウォーク

令和4年11月28日（日）那須野が原公園周辺を歩く、那須野が原ウォークが3年ぶりに開催されました。田園空間博物館でもスタッフ協力し、松方別邸や昭和天皇御手植松のガイドをしながら、紅葉の千本松牧場や赤田調整池などを歩きました。当日はウォーキングに丁度良い気温で、参加者から「大変充実したイベントで満足です」と好評をいただきました。



【赤田調整池にて】

# 特集：田園空間博物館サテライトとわがまちナンバーワン

シリーズ3 横接地区コミュニティ

## ○那須野が原治水の始まりの地

### 1 荒れ果てた原野に最初に作られた命の水路 臺沼（ひきぬま）用水

横接地区とは、横林地区と接骨木（にわとこ）地区を合わせた地域を指します。この地は那須野が原でも北寄りに位置するとは言え、やはりそこは扇状地の扇央となります。近くを蛇尾川が通っていてもれき層に浸透してしまうため、水無し川となり、井戸を掘るには100mは掘らなければならない過酷な地でした。そんな不毛の那須野が原に最初の水路を通したのが臺沼から折戸、横林を抜け、接骨木までをつないだ接骨木堀でした。現在は農業用水路の臺沼用水として、十分な水量が接骨木街道沿いを穏やかに流れる水路として親しまれており、先には乃木神社そして大田原まで続いています。しかし開削当初の江戸時代慶長年間（1596年から1615年）には、今ほど十分な水量もなく、もっぱら飲み水の確保のためだけに使われていたものです。また、取水口についても幾度となく大雨や土石流で埋まってしまうなど、安定した運用ができず、苦勞が絶えなかったものでした。それでも、不毛の荒れ地に命をつなぐ水をもたらした最初の水路であり、那須野が原治水の始まりこそ横接地区の臺沼用水なのです。

### 2 那須疏水最大のハイライト 那須疏水蛇尾川（さびがわ）サイフォン出口

横林小から接骨木街道を約1kmほど北上すると、那須疏水が道路を斜めに横切る所があります。そこから脇道に入り、蛇尾川方面に進むと那須疏水蛇尾川サイフォン出口にたどり着きます。そこには那須疏水が蛇尾川をくぐり、噴き出してくるところがあります。栃木県の田園空間博物館整備事業により、開削当時の噴き出し口を再現したり、現在のサイフォン出口を間近で見られるように階段やデッキが整備されています。

疏水を通すにあたり、蛇尾川を横断させる必要がありましたが、蛇尾川は水路橋を渡しても、左岸と右岸で高低差が少ないので、水が水路橋に流れていきません。そのため、先人たちはトンネルを掘り、水路を川の下にくぐらせることで解決しました。ポンプもなく、自然の力だけで水を川の底から導いてくることは、どれだけ大変なことであったでしょう。今では近代工事技術により改修され、ゴウゴウと音を立てて大量の水が噴き出すようになっていますが、その様子は壮観でもあり、那須疏水全行程において最大のハイライトといってもいいでしょう。



【接骨木街道沿いの臺沼用水】



【那須疏水蛇尾川サイフォン出口】

（文責：田園空間博物館 企画広報部会）

## 那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

◇発行・問合せ先◇

TEL 0287-37-5108（事務局：那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内）

◇ホームページ◇

那須野が原 田園空間博物館

検索



サテライトの紹介、当協議会のイベントなどはホームページでもご覧になれます。



田園空間博物館  
ホームページ